

いしのまき

No.
81

市議会だより

令和6年5月23日発行

令和6年度予算可決	1
各常任委員会審査	5
施政方針に対する質疑	7
17人が一般質問で市政を問う	10
第1回臨時会	19



いしのまきセントラルプリスクール開園式（石巻市開成）

令和6年度予算 可決

「歳入に見合った歳出予算」

「財政規律の遵守およびコスト意識の徹底」
「事務事業の厳選および厳選した事業の推進」の
3つの方針を掲げた予算編成

前年度比 0・2%減

当初予算 総額1268億7千万円

一般会計 712・2億円
対前年度比 1・2%減

8・8億円減

総会計 1268・7億円
対前年度比 0・2%減

2・7億円減

本市の財政は、人口減少や少子高齢化の影響により、市税や地方交付税の増加は見込めない一方、障害福祉や生活保護を中心とする社会保障費や復旧・復興事業で整備した公共施設の維持管理費の増のほか、エネルギー価格や物価高騰の影響など、これまで以上に厳しい状況に直面しています。

これを踏まえ、令和6年度の当初予算編成に当たっては、「健全で持続可能な財政基盤の確立」を基本方針とし、「歳入に見合った歳出予算」、「財政規律の遵守およびコスト意識の徹底」、「事務事業の厳選および厳選した事業の推進」の3つの方針を掲げ、限られた財源の中、「健全で持続可能な財政基盤の確立」と「施策の推進」の両立を目指した予算編成となりました。

歳入

市税は、対前年度比1・9%増の195・3億円、地方交付税は、対前年度比2・0%増の195・4億円、国庫支出金は、対前年度比6・0%減の88・8億円、県支出金は、対前年度比2・7%増の44・2億円、繰入金金は、対前年度比18・1%増の71・8億円、市債は、対前年度比44・6%減の27・5億円です。

歳出

義務的経費は、公債費の臨時財政対策債が減少したものの、職員定員適正化計画に基づき職員数は削減しているが、人事院勧告に基づく職員給与の改定および会計年度任用職員への勤勉手当支給開始に伴う増額、各種扶助費（生活保護費）や、私立認可保育所等運営費、自立支援給付費の増加などにより、対前年度比3・6%増の325・3億円。投資的経費は、石巻中学校校舎および屋内運動場改修工事の皆減や、河北消防署建設事業費の皆減などにより、対前年度比44・5%減の44・1億円です。

令和6年度一般会計予算

712億2千万円の使いみち

■令和6年度各種会計予算のあらまし

会計区分	予算額 (千円)	前年度比 (%)
一般会計	71,220,000	▲1.2
復旧復興分	584,885	▲37.2
通常分	70,635,115	▲0.7
特別会計	34,761,088	3.0
水産物地方卸売市場事業	373,224	▲5.2
国民健康保険事業	16,705,118	2.5
後期高齢者医療	2,315,079	13.3
介護保険事業	15,367,667	2.4
公営企業会計	20,889,794	▲1.9
病院事業	5,996,586	0.5
下水道事業	14,893,208	▲2.9
合 計	126,870,882	▲0.2

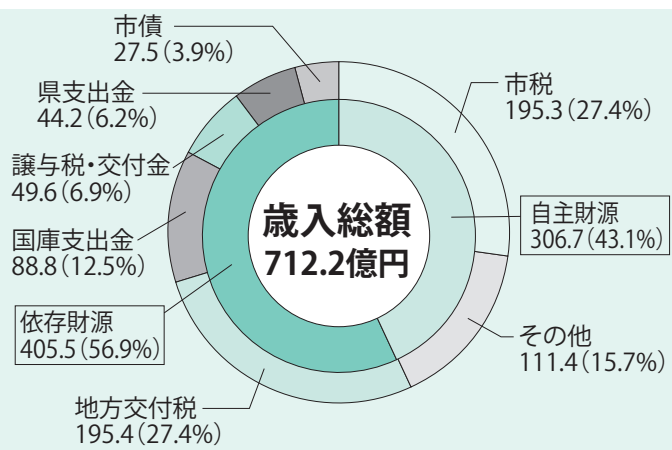


▲安倍太郎 議長

＜一般会計予算の内訳＞

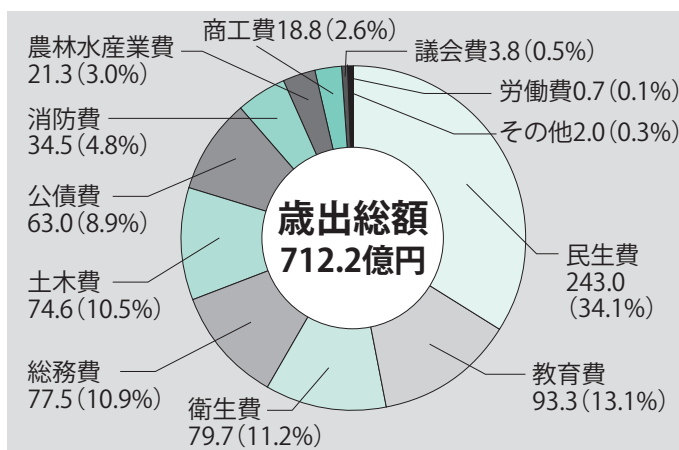
単位：億円

2



■令和6年度当初予算の主な事業

がんばる石巻応援寄付関係費	7億1238万円
医療対策費	3億705万円
健康増進事業費	3億4119万円
企業立地等促進事業費	2億3061万円
企業育成支援事業費	2億4374万円
道路新設改良事業費	1億2026万円
公園管理費	5億2607万円
中瀬公園整備事業費	1億8380万円
須江小学校屋内運動場改築事業費	5億5995万円
須江小学校水泳プール改築事業費	1億9805万円
蛇田中学校校舎改修事業費	4億8018万円
青葉中学校大規模改築事業費	2億1505万円



※()内は総額に対する割合を表します。

第1回定例会

条例や予算など47件を可決

令和6年第1回定例会は、2月15日から3月19日までの34日間の日程で開催し、市長提出議案46件、委員会提出議案1件を審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

第1回定例会に提出された議案と審議結果

予算 (原案可決)

- 令和6年度石巻市一般会計予算
- 令和6年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計予算
- 令和6年度石巻市国民健康保険事業特別会計予算
- 令和6年度石巻市後期高齢者医療特別会計予算
- 令和6年度石巻市介護保険事業特別会計予算
- 令和6年度石巻市下水道事業会計予算
- 令和5年度石巻市一般会計補正予算(第8号)
- 令和5年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第3号)
- 令和5年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 令和5年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 令和5年度石巻市病院事業会計補正予算(第3号)
- 令和5年度石巻市下水道事業会計補正予算(第3号)

条例 (原案可決)

- 石巻市PFI等審査委員会条例
- 石巻市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市市民公益活動団体との協働に関する条例の一部を改正する条例

石巻市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例

石巻市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

石巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

石巻市地域福祉委員会条例の一部を改正する条例

石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

石巻市障害のある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例

石巻市介護保険条例の一部を改正する条例

石巻市営運動場条例の一部を改正する等の条例

石巻市下水道事業の設置等に関する条例及び石巻市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

石巻市建築基準等に関する条例の一部を改正する条例

石巻市営住宅条例の一部を改正する条例

石巻市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例

石巻市市税条例の一部を改正する条例

石巻市手数料条例の一部を改正する条例

工事請負の契約締結について

(東中瀬橋橋梁下部工新設(その2)工事)

工事請負契約の一部変更について

(東中瀬橋仮橋設置工事)

(渡波地区健康づくりパーク整備工事)

(七窪蛇田線道路新設(その2)工事)

(河北消防署庁舎建設その他工事)

(須江小学校屋内運動場・水泳プール改築工事)

(青葉中学校校舎老朽化対策工事)

(的場橋橋梁災害復旧工事)

その他

(承認)

専決処分報告並びにその承認を求めることについて

(石巻市手数料条例の一部を改正する条例)

工事請負の契約締結について

(東中瀬橋橋梁下部工新設(その2)工事)

工事請負契約の一部変更について

(東中瀬橋仮橋設置工事)

(渡波地区健康づくりパーク整備工事)

(七窪蛇田線道路新設(その2)工事)

(河北消防署庁舎建設その他工事)

(須江小学校屋内運動場・水泳プール改築工事)

(青葉中学校校舎老朽化対策工事)

(的場橋橋梁災害復旧工事)

人事

(同意)

教育委員会教育長を任命するにつき同意を求めることについて

矢戸健悦氏を任命することに同意

教育委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて

今泉良正氏を任命することに同意

(異議がない)

人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて

堺章彦氏、佐々木多佳子氏、加納明美氏、木村孝禅氏、沼倉隆樹氏を推薦することに同意

委員会提出議案 (原案可決)

市長の専決処分事項の指定についての一部改正



▲奥山浩幸 副議長

第1回定例会で可決した議案の中から主な内容を紹介します

可決した条例から

◆石巻市PFI等審査委員会条例

本市においては、民間の資金、経営能力、技術的能力等を活用する手法（PFI等）の積極的な活用が求められており、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）の規定による手続きを進めるに当たり、専門的見地から事業手法等を審査し、適正な事業運営を確保するため、新たに審査委員会を設置する条例を制定するもの。

◆石巻市市民公益活動団体との協働に関する条例の一部を改正する条例

令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により、石巻市総合体育館に隣接する石巻市NPO支援オフィスにおいて、外壁の一部が落下するなどの被害が生じ、同支援オフィスは総合体育館内に臨時移転しているが、このたび、本移転に向けた協議が調ったことから、同支援オフィスを石巻市ささえあいセンター内に移転するため、本条例の一部を改正するもの。

◆石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

利用児童数の減少等の理由により、現在は休止としている山下地区第二放課後児童クラブ、住吉地区第二放課後児童クラブおよび万石浦地区第三放課後児童クラブについて、今後の児童数および利用者数の推移等を踏まえ、利用定員数に満たない状況が続くことが見込まれることから、3地区の放課後児童クラブを廃止し、支援数の適正化を図るため、本条例の一部を改正するもの。

◆石巻市障害のある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例

令和3年6月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の一部を改正する法律」が公布され、これまで努力義務となっていた民間事業者による合理的配慮の提供が義務化となり、本年4月から施行されることから、本市においても障害を理由とする差別解消の一層の推進を図るため、本条例の一部を改正するもの。

可決した令和5年度補正予算から

一般会計補正予算（第8号）は、政府のデフレ完全脱却のための総合経済対策に基づき、物価高騰の影響を受けている市民の生活や事業者の活動支援に要する経費に加え、国の第1次補正予算に基づき内示のあった社会資本整備総合交付金事業や、災害公営住宅家賃対策事業などを措置したほか、各種事業の執行見込みに基づく事業費の予算整理および各種特別会計への繰出金や国県補助金等の確定に伴う予算整理を併せて行ったもの。（58億4515万4千円の増額）

◆総務費では

- ・がんばる石巻応援寄付金の増加に伴う返礼品等関係経費の増額 8453万円
- ・民間事業者が運航する離島航路の維持および経営支援補助金の確定による増額 1億5311万円

◆民生費では

- ・令和6年度住民税非課税世帯等および定額減税しきれないと見込まれる方（調整給付）へのエネルギー・食料品等価格高騰重点支援金の給付に要する経費 18億885万円

◆商工費では

- ・道路運送事業者等に対する物価高騰支援に要する経費 7096万円

◆土木費では

- ・災害公営住宅家賃低廉化事業および特別家賃低減事業費補助金の交付に伴う積立金 42億8602万円

◆教育費では

- ・学校給食における食材料の物価高騰対策に要する経費の増額 2533万円

各常任委員会審査報告

2月27日から29日の本会議で、条例や予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。審査されたことの中からいくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

総務企画委員会



阿部浩章 委員長

令和6年度石巻市一般会計予算

Q グリーンスローモビリティの令和5年度の活用実績について伺う。

A のぞみ野地区とあゆみ野地区に1台ずつ配備しており、1月末時点で、のぞみ野地区は75名、7月から配備したあゆみ野地区は車両トラブル等があり5名の利用者数となっている。今後とも地域と連携し、利用者数増加に向け取り組んでいきたい。
Q ふるさと納税の令和6年度の目標金額について伺う。

A 令和5年度はさまざまな施策を実施し、目標金額の10億円を上回ることができたことから、令和6年度は目標金額を12億5千万円とした。人気のある返礼品の開発など事業者と連携し、寄付額の増額に向けて取り組んでいきたい。

Q 石巻専修大学地域連携事業費補助金のこれまでの成果について伺う。

A 令和4年度は5件の研究を依頼したところ、魚市場に水揚げされる低利用魚の利活用の研究において、そのほとんどを廃棄していた低利用魚の成分分析により、ゼラチンと寒天から成る可食性フィルムとしての活用可能性の成果が出ている。

Q 官民連携基盤整備推進調査費補助金（陸上競技場整備事業）の内容について伺う。

A 国土交通省所管の基盤整備事業が民間の事業活動と一体的に行うことにより、実施効果と効率性が期待できる事業の検討経費に対する補助金であり、施設整備内容に関する調査や施設の運営手法、PFIに関する調査検討経費等が補助対象である。当該補助金は既に応募しており、補助金の配分は本年4月下旬以降である。

Q 陸上競技場整備事業の概算事業費算出後に、施設整備の可否を含めた議論の機会はあるのか伺う。

A 概算事業費や施設整備の内容等を記載した基本計画を説明し、議員の意見をもらう場を設定したい。

環境教育委員会



遠藤宏昭 委員長

令和6年度石巻市一般会計予算

Q ずっと住みたい地域づくり支援事業における令和5年度および令和6年度に新設される自治組織とその総数について伺う。

A 令和5年度は新たに渡波地区で設立され、自治組織は全体で7団体となったほか、令和6年度は新たに5地区での設立が見込まれている。

Q 陸上競技場整備事業に関する委託業務の内容について伺う。

A 地質調査業務委託料は、建設事業用地の地質および測量調査を行うものであり、総合運動公園施設整備計画変更業務委託料は、地質調査を踏まえた配置計画、ゾーニング計画等の見直しを行うものである。また、陸上競技場PFI導入可能性調査業務委託料は、バリエーション・フォー・マネーの算出や民間事業者の参画意向など、官民が連携した事業手法が成立するか判断するものである。

Q 学びサポートセンター事業の自宅から出ることができない子どもへの支援状況について伺う。

A 学びサポートセンターの指導員を通じて家庭訪問を行い、まったく会えない子どもに関しては、児童相談所など、関係機関と連携をとりながら対応している。

Q 齋藤氏庭園整備事業の内容と整備期間について伺う。

A 齋藤氏庭園内の建物の耐震診断を行うものであり、年次計画で1棟ずつ進める予定である。全体の耐震診断が完了してから耐震工事を行い、事業の検証を終えるまで、5年ほどかかる見込みである。

Q 給食費の値上げによって従来の栄養価を確保できるのか伺う。

A 今回の給食費の改定は令和4年度ベースの栄養価を維持しながら、物価高騰による値上げに対応するものである。

保健福祉委員会



千葉正幸 委員長

石巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例

Q 税率改定の経緯、経過について伺う。

A 税率改定は、平成23年度の旧1市6町の税率統一時と、平成30年度の国民健康保険運営の都道府県域化の際に行い、震災後は被災者支援策により財政調整基金残高を維持してきたが、平成30年度に資産割を廃止したことで歳入が減少し、基金を維持できなくなり今回の税率改定に至った。

Q 税率改定に関する国民健康保険運営協議会の意見について伺う。

A 平成30年度の資産割廃止時に、その一部を所得割額等に転嫁すべきでなかったか、十分な基金を保有して安定運営すべきだなどの意見があった。

Q 一般財源からの法定外繰り入れを検討しないのか伺う。

A 法定外繰り入れは県と協議しなければならず、繰り入れを

実施した場合は、宮城県と県内市町村に対する国からの交付金が減額され、本市以外にも影響が及ぶことから、実施は適切でないと考えている。

石巻市介護保険条例の一部を改正する条例

Q 保険料の引き下げおよび引き上げとなる対象者数について伺う。

A 保険料の引き下げとなる第1段階から第3段階は1万8394人、保険料の引き上げとなる第10段階から第13段階は、本年の税情報で確定していないが、1321人と推定している。

令和6年度石巻市一般会計予算

Q 放課後児童クラブ数および支援員の人数について伺う。

A 市の放課後児童クラブ28地区51カ所のうち、民間委託は7地区19カ所となっており、支援員が78人、補助員が26人の計104人である。

Q 放課後児童クラブを民間委託する効果について伺う。

A メリットは民間の柔軟な雇用・研修体制が充実しており、質の高いサービスが提供できること。デメリットは管理運営費などの経費負担が大きくなることである。

産業建設委員会



木村美輝 副委員長

石巻市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例

Q 空き家の現状とその戸数について伺う。

A 平成30年度および令和元年度に実施した空家等実態調査により、空家等候補と判定された件数は2392件であり、そのうち空き家の不良度判定により大規模修繕や除却の必要が高いdランクが50件、中規模から大規模修繕が必要なcランクが121件、計171件が管理不全な空き家と思われる状況。また、令和5年度および令和6年度に空家等実態調査を再度実施することとしており、本調査をもつて令和7年度中に石巻市空家等対策計画を改定する。

令和6年度石巻市一般会計予算

Q ニホンジカ捕獲の取り組みについて伺う。

A 猟銃を使用した巻き狩りによる手法のほか、住宅地や神社等の周辺状況により、猟銃が使えない

場所ではわなを用いた捕獲を実施するなど、現地の地形や状況に応じた手法で捕獲作業を行っている。

Q 水産物の輸出に対する本市の取り組みについて伺う。

A 最近はアメリカへの水産物の輸出が増えているため、本市の業者が輸出先の業者とマッチングできる場の設定を、行政の役割として引き続き進めていきたい。

Q 企業育成支援事業費および中小企業等融資関係費等を活用した企業支援策について伺う。

A 市内事業者の全てを支援するのは難しいため、既存事業の見直しを含めながら、予算の中でより効果的な支援策を考え、今後新たな事業展開をしていきたい。

Q リポーンアート・フェスティバル補助金の内容について伺う。

A 浜浜地区にある県道沿いトイレの維持・改修のほか、常設作品の清掃等の維持管理およびその保険料等に対する補助である。

Q 都市再生整備計画業務委託料の内容について伺う。

A 都市再生整備計画区域内における空き地、空き店舗などの低未利用土地の活用方法の検討やコーディネートを行う業務である。

～会派代表質疑～ 施政方針をただす

第1回定例会の初日、齋藤市長による施政方針演説があり、各会派の代表者がこの施政方針に対する質疑を行いました。その中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

質疑の様子は、録画映像でもご覧になれます。

施 政 方 針 要 旨

重点施策

- 1 全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくり
- 2 安全・安心なまちづくり
- 3 人口減少対策と地域コミュニティの強化
- 4 産業の発展と雇用創出
- 5 物流拠点の形成と新たな観光の構築
- 6 定住自立圏構想の実現



齋藤正美 市長

本紙面から、各議員の顔写真の下にある2次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画で見ることができます。

施政方針に対する質疑通告一覧

※感染症防止対策のため答弁を含めず、1人40分以内の質疑時間となっています。

会派名	代表者名	質疑事項
ニ ュ ー 石 巻	大 森 秀 一	1 重点施策について 2 行財政運営、予算編成及び組織機構の見直しについて
石 巻 颯 の 会	西 條 正 昭	1 市長の政治姿勢について 2 「全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくり」について 3 「安全・安心なまちづくり」について 4 「人口減少対策と地域コミュニティの強化」について 5 「産業の発展と雇用創出」について 6 「物流拠点の形成と新たな観光の構築」について 7 「定住自立圏構想の実現」について 8 行財政運営について
公 明 会	渡 辺 拓 朗	1 能登半島地震について 2 全ての市民が石巻に住んで良かったと思えるまちについて 3 全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくりについて 4 安全・安心なまちづくりについて 5 人口減少対策と地域コミュニティの強化について 6 産業の発展と雇用の創出について 7 物流拠点の形成と新たな観光の構築について 8 定住自立圏構想の実現について 9 市長の政治姿勢と行財政運営について
日 高 見 会	星 雅 俊	1 市政運営の実績等について 2 全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくりについて 3 安全・安心なまちづくりについて 4 人口減少対策と地域コミュニティの強化について 5 産業の発展と雇用創出について 6 物流拠点の形成と新たな観光の構築について 7 定住自立圏構想の実現について 8 行財政運営について 9 予算編成について 10 組織の見直し



ニュー石巻(会長)
大森 秀一 議員



問 (仮称) 東中里広場の施設整備工事について伺う。

答 地域の皆様からご意見を伺いながら設計作業を進めており、多目的広場を中心にトイレや駐車場、ウォーキングコースとなる園路を配置し、地域から要望をいただいたあずまのほか、遊具、ステージ等の施設を取り入れた広場の整備を進めていく。

問 医療施設開設支援事業、市立病院の医師確保について伺う。

答 医療施設への直接的な働きかけとして、市ホームページへの掲載をはじめ、市内医療機関への個別周知を行うこととしており、医師同士のネットワークや、提携病院等への働きかけもお願いしていく。

問 学校給食保護者負担軽減事業について伺う。

答 物価高騰等の影響により、食材価格が値上がりする中、学校給食に必要な食材を調達するため、令和6年度においては、国の地方創生臨時交付金を活用し、現行の給食費との差額を市が負担することで、保護者の負担を実質据え置きとする。また、給食費の無償化については、国策として対応すべき問題と認識していることから、今後も国に働きかけていく。

問 中瀬公園の整備について伺う。

答 中瀬地区は堤防がない「かわ」と「まち」が一体化していた、石巻の原風景をとどめる場所であることから、造船業の歴史や東日本大震災による壊滅的な被害状況等を伝える説明板の設置を検討していく。

問 行財政運営、予算編成および組織機構の見直しについて伺う。

答 持続可能な行財政運営の推進については、行財政改革推進プラン2025の基本方針として、「限られた行財政資源を活かした持続可能な行財政運営の推進」を掲げており、主たる行財政資源である予算と人材を効果的に活用し、最少の経費で最大の効果を発揮することが、持続可能な行財政運営の推進に必要であると認識している。

問 多様な市民ニーズの選択と集中について伺う。

答 事務事業評価による内部評価や、総合計画推進会議における外部評価の結果などを踏まえながら、事業の緊急性、必要性、効果、さらには財政状況等を総合的に判断し、優先順位の決定や改廃、見直しを行い、実施計画に位置付け、対応していく。



石巻^{はやて}の会(会長)
西 條 正 昭 議員



市長の政治姿勢について

・「現場主義」

問 現場主義に徹し、動く市長室など市民の声を聴きながら全身全霊で取り組んできたとのことだが、就任から今日までの程度の意見があり、事業に反映できたのか伺う。

答 令和5年度までに延べ374件の意見や提案を頂いている。その結果、7割程度の265件が対応済みとなっている。残りの81件については、財源確保を含め、国・県への要望や関係機関との調整を図りながら、取り組んでいる。

安全・安心なまちづくりについて

・「災害に強いまちづくりの確立」

問 津波避難対策緊急事業計画を策定することのことだが、石巻市地域防災計画に、令和6年能登半島地震の知見を反映した見直しを行う必要性について伺う。

答 今後、国の検証結果等を踏まえ、新たな知見が公表された場合は、宮城県や関係機関と連携を図りながら、地域防災計画の改定等を進めていく。

産業の発展と雇用創出について

・「地域産業への支援」

問 地域産業は厳しい状況であると述べられた。地域産業を支えるためには地元生産品を地元の商店で購入する購買力強化が必要である。コピー用紙など一般的な発注においても、市役所自身が率先して地元購買の姿勢を示すべきでないか伺う。

答 地元企業の皆様には多くの市民の雇用のほか、地域経済の活性化、災害時の対応にも協力をいただいている。引き続き、地元企業への優先発注を進めていく。

物流拠点の形成と新たな観光の構築について

・「石巻新庄道路の早期実現」

問 関係自治体と国・県への働きかけを進めていくとのことだが、これまでの取り組み状況、早期実現に向けた思いを伺う。

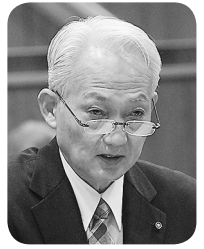
答 産業・経済活動の活性化はもとより、地域住民の生命と生活を守る大変重要な道路である。関係自治体等と連携を強化し、早期の実現に向け取り組んでいく。

行財政運営について

・「予算編成」

問 健全で持続可能な財政基盤の確立を基本方針とすることだが、市民ニーズや優先事項に応じたりソース(資源・財源)配分をいかに行うか伺う。

答 各種事業を計画的かつ効率的に総合計画実施計画に反映させ、事業費とその財源を加味した財政収支見通しを策定し、健全な予算編成につなげていく。



公明会(会長)
渡辺 拓朗 議員



全ての人が住んで良かったと思えるまち

問 市民意識調査はまちづくりに影響を与えるが、持ち家の人とそうでない人の回答率に4倍の開きがあるなど精度に問題がある。調査方法を見直すべき。

答 回答率の向上とともにバランスよく把握できるよう、調査方法を検討する。

問 石巻市博物館に子ども目線の展示をどのように企画していくのか伺う。

答 子どもが興味を湧かせ楽しく過ごせる空間づくりに向け、小中学校と連携を取りながらアンケートを実施し、子どもたちの意見を取り入れた展示を企画する。

安全安心なまちづくり

問 カーシェアリングによる無償移動支援のボランティアドライバーの運転技能の向上策を伺う。

答 関係機関と連携を取りながら安全運転講習の参加率向上(現在47%)を図り、ボランティアドライバーの資質向上に取り組む。

問 災害において、要援護者をどう避難させるかが最重要である。夜間の高齢者施設等、地域防災計画にどう反映させるのか伺う。

答 避難確保計画と避難訓練が義務付けられており、実効性のある避難計画を策定していただくよう啓蒙する。

問 年金事務所に障害年金(精神障害)の相談が震災前と比べ4倍に増えていることを踏まえ、市立病院に心療内科等を設置できないか伺う。

答 当該医師が非常に少なく、困難な状況である。

問 医療機関の偏在緩和策として、医師会と連携を取りながら医療機関巡回バスを運行できないか伺う。

答 通院形態が多岐に及び、現実的に困難と認識しているため、オンライン診療の推進を図る。

産業の発展と雇用の創出

問 認知症の方の働く環境づくりの進捗を伺う。

答 企業、福祉関連団体の協力が不可欠であり、全国の先行事例を研究する。

市長の政治姿勢について

問 国債残高が減らない中、リーマンショックやコロナ禍があっても一部の国民の金融資産によって、総国民金融資産は連続で増え続けている。受益と負担の好循環と地方の財源確保のためにも、全国市長会において、税制改革を地方の立場から国に提案すべきと考えるがいかがか。

答 国だけでなく地方自治体、企業、市民の経済活動も含めて考えていくべきものと認識している。成長と分配の好循環による新たなステージを迎えられるよう、あらゆる場面で意見を述べていく。



日高見会(会長)
星 雅俊 議員



陸上競技場整備事業基本計画

問 調査内容である施設規模や事業費、財源措置など事業決定する上での情報が必要である。事業決定の判断基準を伺う。

答 計画は3月末に素案、6月に議会説明後、パブリックコメントを経て策定。財源確保や手法等の検討結果を踏まえ、整備時期などを決定する。

安全・安心のまちづくり

問 能登半島地震の道路交通遮断を踏まえ、原子力災害時の避難道整備に当たり必要な強度を保つにはどのような対策が必要なのか。また、ヘリポート場や船などの整備拡充をどう進めるのか伺う。

答 道路等は平時から計画的点検、パトリールを維持管理に努める。海路は、鮎川港から塩釜港へ避難訓練を実施し、ヘリポート場は、令和6年度に雄勝地区半島部に夜間も離着陸が可能な場所を整備する。

介護職員への支援

問 令和6年4月から介護報酬の改定により、訪問介護事業への評価が下がり、当該サービスを行う職員の離職等が懸念される。地域で安心して暮らせるサービスを支えるための補助が必要ではないか伺う。

答 介護報酬は、全国一律の単価であり、市が特定サービスにのみ補助するのは難しい。引き続き国へ要望していく。

学力対策と誰もが安心して暮らせる学校生活体制

問 本市小中学校で不登校児童生徒の居場所や、特別な配慮を要する児童生徒の外部通所福祉施設の増設や、通所手段支援が必要ではないか伺う。

答 各地区に学びサポートセンター分室を検討している。フリースクールや民間福祉施設等と情報交換をしており、支援の在り方も含めて子ども居場所を充実させる。

問 中学校卒業後、市外高校への進学者が増加し、市内の高校は、定員割れの状況。人材流出を防ぐため、県立を含めた市内高校の在り方は、有識者等の検討が必要ではないか伺う。

答 市外進学者は、毎年約200人おり、県立を含めた魅力ある高校の在り方について、県と協議し、有識者等で検討する。

陸上養殖等への支援

問 水産分野への従来支援に加えて、著しい環境の変化に対応する陸上養殖等への支援も必要だと考えるが、対策について伺う。

答 陸上養殖の推進を産学官グループ交流会で取り組んでいる。企業立地等促進条例の助成金や災害危険区域内の市有地事業化を促し、関係機関と調整する。

一般質問

議員17人が登壇

市政を問う!

第1回定例会の一般質問は、17人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしたり、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

一般質問通告一覧(質問順)

※ウイルス感染防止対策のため答弁を含め、1人50分以内の質問時間となっています。

①遠藤 宏昭 (ニュー石巻) 1 石巻市LINE公式アカウントの現状について 2 能登半島地震への本市の対応について	⑩都甲 マリ子 (日高見会) 1 本市における「こどもまんなか宣言」とこどもの居場所について
②齋藤 澄子 (無会派) 1 災害時における避難計画の実行性及び避難所の在り方について 2 ハラスメントの認識について 3 私立幼稚園に対する相談窓口設置について	⑪宇都宮 弘和 (石巻風の会) 1 石巻市における観光産業の活性化について
③木村 美輝 (ニュー石巻) 1 半島部の災害時の情報共有と避難対策について 2 総合支所の現状と課題について 3 消防団の出初め式のあり方について	⑫原田 豊 (ニュー石巻) 1 能登半島地震への支援について 2 災害時の避難計画について 3 旧合同庁舎跡地について
④勝又 和宣 (ニュー石巻) 1 いしのまき政策コンテストについて 2 公共下水道事業について 3 ペットとの共生社会について	⑬高橋 憲悦 (ニュー石巻) 1 地方創生・地域活性化と行財政運営の推進について
⑤阿部 和芳 (日高見会) 1 市長の政治姿勢について 2 教育長の目指す教育について	⑭谷 祐輔 (石巻風の会) 1 市民と行政が共に創るまちについて 2 安心して暮らせる住まいについて
⑥後藤 兼位 (石巻風の会) 1 行財政運営について	⑮阿部 久一 (ニュー石巻) 1 市政運営について
⑦千葉 正幸 (ニュー石巻) 1 合併から20年目の節目にあたり、合併に託した思いの検証について	⑯我妻 久美子 (石巻風の会) 1 市役所の庁内会議について 2 学力向上について 3 市立病院について 4 須江地区火力発電所建設計画について
⑧楯石 光弘 (日高見会) 1 子どもの「生きる力」を育む教育について 2 いしのまき復興マラソンの在り方について	⑰阿部 浩章 (ニュー石巻) 1 庁内における働き方改革の進捗について 2 地域活動団体の現状と課題及び対策について
⑨鈴木 良広 (公明会) 1 安心・安全な教育環境の確保について 2 食品ロス削減に向けた取り組みについて	

※ 楯石光弘議員は3月25日付けでニュー石巻から日高見会に会派を移籍しました。



遠藤 宏昭
議員

ニュー石巻



石巻市LINE公式アカウントの現状について

登録者数はおおよそどれほどか。

2月1日現在、1万6千名。

どのような市民サービスが受けられるのか。

災害情報・イベント情報・市長による定例記者会見・市報いしのまきなどを発信。道路や公園の破損箇所など、市民からの「通報」を受信。

「通報」機能の利点とは何か。

市民と情報共有ができる点。職員の電話対応の時間が減少し、事務の効率化が図られる。

LINE公式アカウントは、市民にとって便利で軽い機能である。もっと活用してほしい。

市民への周知を図るため、市報やごみカレンダーに利用方法などを掲載しPRしていく。

道路インフラの維持管理の観点から、北上運河にかかる「中里新橋」およびJR石巻線をまたぐ「境谷地蔵線橋」の修繕について伺う。

「都市計画道路・七窪蛇田線」の全線開通により、交通量の増加が見込まれる。日常のパトロールや定期点検を実施し、適正に維持管理していく。以前より議員から指摘を受けていた箇所は、早速、工事に取りかかる。

中里地区の冠水対策について、JAいしのまき本店前からUマート石巻店付近までの工事計画はどのようなものか。

Ⅰ型側溝をⅡ型側溝に敷設替えし、排水量の増加を目的とする側溝改良工事を行う。

「中里四丁目交差点」の改良工事計画は。

右折レーンの延伸。



齋藤 澄子
議員

無会派



災害時における避難計画の実効性および避難所の在り方について

能登半島地震を受け、避難計画の策定をやり直さない限り、女川原発2号機は再稼働できないのでは。また、乾式貯蔵施設の建設にあたり、半永久的に核のゴミ捨て場にならないようにするべき。

市民が安心できる避難計画や防災体制を構築することが責務。避難支援アプリなどの知見を踏まえ、避難計画の不断の見直しを行い、原子力防災体制の充実、強化に努める。一時的貯蔵する施設と認識しており、貯蔵が常態化することがないよう協議する。

女性などに安心な避難所を。

女性の部屋の確保など避難所運営の在り方について、市民の意見を伺いながら検討する。

屋上などへ避難する際に、サポートできるような石巻専修大生へ公営住宅を提供できないか。

若者による地域貢献活動を条件に、石巻専修大学と協議中。

ハラスメントの認識について

ハラスメントにより深刻な人権侵害が起きている。対策の重要性について。

人権に関わる許されない行為だ。職場での影響は大きく貴重な人材の損失につながり、組織に対する社会的評価を低下させるものだ。必要な措置を確実にすることが重要。

私立幼稚園に対する相談窓口設置について

私立幼稚園でのさまざまな相談ができるように、相談窓口を設置すべき。

相談内容を聞いた上で、学校法人や県へと適切に上げるよう対応していく。



木村 美輝
議員

ニュー石巻



半島部の災害時の情報共有と避難対策について

沿岸部の情報共有のため、各行政区に衛星電話を設置していたが、回収した理由を伺う。

バッテリーの劣化や対応年数が経過したため。

代替えの機器も用意せず回収するのは納得いかないが、見解を伺う。

衛星電話に変わるものを早期に検討していく。

寄磯浜前浜地区の避難道路の新設に当たり、接続される林道の整備も行わなければならないと思うが、見解を伺う。

整備の必要性について関係部署と協議する。

再稼働寸前で中間貯蔵施設の設営では説明不足と思われるが、所見を伺う。

安全性に重点を置き、住民が不安にならないように取り組んでいく。

総合支所の現状と課題について

沿岸部の後継者不足が懸念されており、婚活イベントを行政側で企画、サポートができないか伺う。

地域に特色があるため、総合支所ごとにやることはいいことである。担当だけではなく全体で取り組んでいくことが大切である。

総合支所の予算増額ができないか伺う。

緊急度が高いもの、危険度があるものなど必要性を判断して予算対応していく。

消防団の出初め式の在り方について

消防団の出初め式の服装が軽装に見えたが、指揮、決定はどのようなになっているのか伺う。

地区団長会議で協議決定した。

服装準備など、行政でできることを考えなければならない。



勝又 和宣
議員

ニュー石巻



公共下水道について

問 将来の人口減少等を見据え、下水道全体計画区域等を見直す時期だと思いが、見解を伺う。

答 将来人口等を見据え、下水道全体計画区域や事業認可区域、合併型浄化槽での対応とする区域の検討等、将来的にも真に下水道施設が必要な地域を選定し、効率的な汚水処理整備を図っていく。

ペットとの共生社会について

問 飼い主の責務に関する周知方法について、ホームページや市報等だけでなく、直接的な関わりのあるペットショップや動物病院、獣医師会、トリミング店等にチラシを配布し、掲示してもらうことでより広い周知になると思うが、所見を伺う。

答 獣医師会や動物病院等と連携し、ペットショップやトリミング店等の協力を得ながら、さらなる周知を図っていく。

問 保育所・小学校等において、動物愛護に関する普及啓発や適正飼養に関する情報等が必要だが、所見を伺う。

答 各小学校と連携した動物愛護に関する普及啓発や、動物全般の適正飼養に関する情報発信等に努める。

問 安心して避難所へ行く選択ができるよう、そして避難先でのトラブルを未然に防ぐために、ペットとの同行避難の整備が必要だが、見解を伺う。

答 ペットとの同行避難の在り方について関係部と協議しながら、避難所開設マニュアルの改定にしっかりと取り組んでいく。



阿部 和芳
議員

日高見会



問 市長の政治姿勢について、公共施設のマネジメントが重要だ。財政調整基金約39億円の取り崩しの所見と対応は。

答 扶助費と負担金の増額による。行財政改革推進プラン2025に基づく歳出削減などにより、持続可能な財政基盤の確立に努める。

問 「ハコ物事業」の在り方は。監査意見書に市民1人当りの延床面積が全国平均の2.2倍になっており、公共施設マネジメントを強化する必要があるがどうか。

答 復興公営住宅が67%占めている。公共施設等総合管理計画に基づき、厳選して進めていく必要がある。

問 深谷市の「ワモア川本」のような縮充が大切だ。一方で、石巻市陸上競技場を新設するが、進め方は。

答 財政規模に見合った施設としながらも、市民の健康増進、スポーツを通じた交流のまちづくりに資する施設としていきたい。

問 競技場は心配される案件で、アスリートファーストより市民ファーストが大事だ。議会と共通認識が必要。今後は、公民連携が重要で、ハコ物と指定管理の在り方を見直すべき。

問 教育長の目指す教育について、定員割れする高校入試の現状は。いじめ等が多くなり不登校が連動している現状は。国際バカロレアを目指してはどうか。

答 桜坂高校は来年度が10年目の節目、関係者と魅力的な高校へ。いじめは、思いやり、他人の良さを認める対策を。バカロレアに支払う諸経費等課題がある。



後藤 兼位
議員

はやて
石巻颯の会



問 半島沿岸部の移転元地の現状は。

答 いまだ多くの土地が未利用になっており、維持管理が問題である。

問 移転元地を陸上養殖に活用しては。気候変動により水産資源が減少する中、陸上養殖であれば安定的な資源確保が可能だ。水産業の未来が期待できる。

答 低平地の利活用に陸上養殖も有効だと考える。県や大学と連携し、技術支援にも取り組む。

問 市内の水産加工業者は、二重ローンに加え、コロナ禍の影響もあり資金調達に苦慮している。海水温上昇等による魚種の変化に対応し、新たな設備投資するにも、金融機関から融資が受けられず、事業継続が困難になっている。

答 資金繰りに苦慮している状況は承知している。事業継続のために、国や県に働きかける。

東北電力女川原子力発電所2号機における使用済み燃料乾式貯蔵施設の設置について

問 貯蔵施設の建設は、使用済み燃料の長期保管につながるのではないか。

答 再処理施設へ搬出するまでの貯蔵施設で、再処理施設が完成、稼働すれば搬出されると認識しており、長期間保管される施設ではない。

問 新たな税の導入は、長期保管を認めることにならないか。

答 新たな税の導入は、長期保管を容認するのではなく、敷地外への早期搬出を促すことが目的。

問 それを防ぐために累進課税の導入も検討すべき。

答 経年累進課税の導入を検討する。この税収を、安全対策・防災対策の充実に活用する。



千葉 正幸
議員

ニュー石巻



合併から20年、託した思いは

問 令和6年度で合併から20年目。住民が望んだ合併の姿は今の石巻市を想定していただろうか。全国的な人口減少とはいえ、若者は地方を離れ、子どもが激減し寂しい過疎地域となった。小さい自治体でも自己防衛のために努力をしたであろうことが当然のごとく想定される。当時の1市6町議会議員127名が、自身の進退を視野に合併に託した思いは受け継がれてきたか何う。

答 新市まちづくり計画の施策の体系・内容に包括され、それぞれの議員の思いは受け継がれている。

問 まちづくり計画のこれまでの実行状況を伺う。

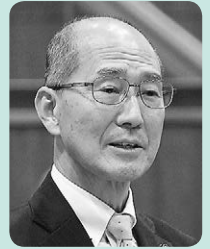
答 各市町から提案された591事業は、総合計画実施計画に包括し、進捗管理を行っている。東日本大震災で被災した半島沿岸部は、復旧復興事業により、方向性が大きく変化したことや、社会情勢を踏まえて事業の整理や見直しを行い、東日本大震災で中止の事業を除いて9割程度完了している。

問 合併特例債は、均衡ある地域発展に寄与したか何う。

答 令和4年度末で348億円を発行。人口比率に沿った割合で各地区の公共施設等の整備に充当し、均衡ある発展に寄与している。特例債は令和12年度まで延長され、今後は財政事情と地域バランスを考慮し、暮らし続けられる施策の推進に努める。

問 節目の年であるため、合併後の市民アンケートを取れないか何う。

答 慎重に判断したい。



楯石 光弘
議員

日高見会



子どもの「生きる力」を育む教育について

問 大谷翔平を育てたお母さんは、ただかわいいかわいいと抱き締めながら育てた。よちよちの頃から、くたくたになるまで外で遊んでいた。前例なき激変の時代の中で「生きる力」をどのように考え、知・徳・体の現状は。

答 予測困難な時代に自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断して行動する力。点数を上げることだけではなく、共に考え議論し学ぶ楽しさを実感し、学力の質を高めている。人の役に立つなど豊かな人間性涵養に取り組んでいる。体力では特に持久力と肥満の課題がある。

問 幼児教育が見直されているが対策は。

答 人間形成の土台作りで大変重要。幼児教育センターを開設し、アドバイザーを派遣する。

問 保育所等が公立から私立へ、メリットは。

答 民間ならではのノウハウを取り込み、乳児保育や延長保育などニーズに即したサービスを提供。

問 父兄より持久走大会復活の声が上がっているが。

答 一般道路の利用は難しくなったが、時間走や業間マラソンなどで持久力を高めたい。

いしのまき復興マラソンの在り方について

問 今年度は参加人数が約800人減少した。提案。大会はアスリートだけが参加するのではなく一般市民、子ども、女性、高齢者にも配慮し、健康づくりの裾野を広げる一大イベントへ。名称もいしのまき健康マラソンとし、心の復興にもつなげたい。

答 前向きに検討する。



鈴木 良広
議員

公明会



安心・安全な教育環境の確保について

通学時(通園時)の安全対策について

問 中里小学校北側に横断歩道設置の要望があったが、待機場所の確保等、設置が困難なことから「徐行」の路面標示施工に。通学路でもあり、カラー表示など視覚的に目立つ表示にすべきと思うが、所見を伺う。

答 当該箇所は、令和3年度に学校から横断歩道設置の要望を受け、点検を実施・検討したが、設置困難であったことから路面標示施工を行った。提案については関係機関と協議の上、効果的な安全対策に取り組む。

不審者対策について

問 「子ども110番の家」のステッカーは犯罪抑止効果もあると考える。店舗等であれば、子どもたちも入りやすいし必ず誰かがいる。可能な限り店舗等に登録をお願いすべきと考えるが、所見を伺う。

答 常に人がいる商店、地元企業等に協力をお願いすることも有効な手段の一つ。地域の実情に応じた協力体制の在り方を検討する。

食品ロス削減に向けた取り組みについて

問 渋谷区の小学校では給食で出た残食をリサイクル(堆肥化)する取り組みを行っている。単に廃棄せずに再利用する取り組みは、食と環境を学ぶ上で、新たな視点に立った取り組みと考えるが、所見を伺う。

答 廃棄量の減量のみならず、環境教育としても有効な取り組みであると認識している。今後、先進事例を参考に研究していく。



都甲マリ子
議員

日高見会



本市における「こどもまんなか宣言」と子どもの居場所について

問 「こどもまんなか宣言」により、子どもの権利の保障の推進、子どもの居場所の拡充等を推進していくことを宣言したが、児童館と移動児童館だけでは子どもの居場所を十分に確保することは難しい。図書館、公民館、放課後児童クラブ等と連携して、子どもの居場所の拡充に努めるべき。

答 本市は子どもが安心して気軽に行ける子どもの居場所が乏しい。関係団体や既存の施設等と連携しながら取り組んでいく。

問 小学校での「子ども同士で学区の外に出ないよう」という指導により、児童館や図書館に日常的に行ける子どもは限られる。子どもの移動の自由そのものを制限する指導は「石巻市子どもの権利に関する条例」に違反しているのではないか。

答 安全上の配慮は前提として、子どものための施設等に行くこと自体は推進すべきものと考えている。

問 放課後児童クラブの民間化の公募初期には、地域との関係性を重視するとの当局の見解があったが、現在1地区を除き全ての契約者が全国大手事業者1社となっている。委託の方向性に変更があるならば、地域の関係団体に対し説明をすべき。

答 プロポーザルによって厳正に審査した結果の委託となっている。経済効果ではなく、行政が安心して任せられる事業者を選定していく。



宇都宮弘和
議員

はやて
石巻颯の会



石巻市における観光産業の活性化について

問 「ホスピタリティ」の基本的な考え方や「おもてなし」のレベル向上のためのセミナーや研修は行っているのか。

答 今後、関係団体と連携し、事業者の意識醸成を図るための「おもてなしセミナー」などを開催していきたい。

問 観光DXについての取り組みや課題について。

答 SNS等を活用した情報発信、国・県の補助制度の活用や情報提供を行い、引き続き事業者と一緒に観光DXの推進に努める。

問 観光のさまざまな取り組みをKPI（重要業績評価指数）に反映させ、評価してはどうか。

答 総合計画・産業振興計画において、KPI・KGIを定めている。関係団体と連携しながら、PR・商品開発などを検討していく。

問 観光大使の市民認知度に差がある。市民の皆様にはどう紹介しているのか。

答 観光大使の意向を確認しながら、可能な限り丁寧な情報発信、認知度向上に努める。

問 観光大使の他に、海外向けの「石巻親善大使」の創設について考えを伺う。

答 観光大使の中には、国際的に活躍している大使もいるため、現時点においては考えていない。

問 行政、DMO、観光協会などと役割分担を明確にして、効果の上がる実効性のある観光戦略を考えて取り組む必要があると思うか。

答 観光関係団体と役割分担を明確にできるよう協議を進めていく。



原田 豊
議員

ニュー石巻



能登半島地震への支援について

問 支援活動について、市民からの要望など問い合わせ件数を伺う。

答 社会福祉協議会などへ20件程度の問い合わせがある。

問 能登半島地震義援金として、当市に寄せられた寄付金の合計を伺う。

答 本市が受け付けている日本赤十字社への寄付として、3月12日現在で109件、1924万円の寄付がある。

問 本市は能登半島の被災自治体に代わり、ふるさと納税代理受領を担っている。珠洲市、輪島市、志賀町の代理受領額がいずれも上位の金額を集めていることについて、所見を伺う。

答 被災された方が、一日でも早く日常の生活を取り戻せるよう支援させていただくため、発災後の早い段階で代理寄付を始めたことや、東日本大震災の最大の被災地として、多くの皆様から共感を得られたことが、総額5100万円を超える寄付額につながったものと考えている。

問 寄付者はどの自治体を経由しても何ら特典はないが、本市に寄付が集中した理由はまさに「共感」だと思う。共感の寄付と、返礼品の寄付は並列ではない。石巻のファンが日本全国にいたことが証明された。今後、ふるさと納税を用いて能登半島地震への支援を加速させ、市民の防災意識向上や当市の支援体制の構築を図るためにも、市民団体や自主防災組織などへの補助を提案する。

答 ボランティアの皆さんのお気持ちを大事にしながら、どのような支援ができるのか研究したい。



高橋 憲悦
議員

ニュー石巻



地方創生・地域活性化と行政運営の推進

問 衰退化している地域コミュニティについて。

答 「ずっと住みたい地域づくり支援事業」により、地域課題の解決を図る。

問 健全で持続可能な財政基盤の確立について、負担増で深刻化している国保税。新規事業の選択と集中を行う上での判断基準について。

答 国保税は、医療費の縮減を図る。新規事業の判断基準は、緊急性や必要性、費用対効果など財政状況等を総合的に判断する。

問 ツール・ド・東北など、大震災後の新しいイベントとしての取り組みについて。

答 ツール・ド・東北は、ライダーとの交流などを定着化させ、昨秋の「復活の石巻第九」等にもサポートする。

問 職員定員適正化計画と中途退職者の現状について。

答 目標から72人も下回っており、定年前退職者は、令和3・4年度合わせて70人である。

問 公務員地域貢献活動休暇について。

答 必要性や相当性、妥当性を見極め検討する。

問 「オール市民」「オール市役所」について。

答 山積の諸課題に、柔軟かつ力強くみんなに対応する。

問 3・11追悼式のサイレン等の音量を低く抑えた理由と今後について。

答 市民皆様の思い、現状の社会情勢を鑑み、静かに故人を偲びながら、ゆっくりと当時の想いを巡らせていただくためであり、今後も継続したいと考えている。



谷 祐輔
議員

はやて
石巻颯の会



市民と行政が共に創るまちについて

問 市民との協働によるまちづくりを行うためには、市民自らが「自分ごと」として自治体の将来目標や施策から、共に石巻のありたい姿を考え、行動してもらうことが重要である。そこで、総合計画を市民目線で発信し、より知ってもらう必要があるのではないか。また、既得権益にとらわれない「生活者としての市民の声」を計画に反映する機会を増やすべきではないか。

答 発信方法については、子どもから高齢者まで視覚的に分かりやすい概要版の作成を検討するとともに、市民に計画の内容を説明し、声を聴く場を積極的に設けていく。

問 市民との協働という視点で、高齢化等により地域の担い手は減少している。そこで持続的に地域を支えてもらうための施策として、補聴器助成制度の創設が必要ではないか。

答 本市にとって、地域を担ってくれている方々は大切な存在であるが、他事業との調整や新たな財源の確保が必要となるため研究していく。

安心して暮らせる住まいについて

問 昨今、低額所得者や高齢者、障害者、子育て世帯等、住宅に困窮する人々（住宅確保要配慮者）は増加傾向にある。そのような状況下にある市民を支えるために、ハード面（住居の確保）とソフト面（福祉的支援）を一体的に行う「居住支援の仕組み」を構築していくべきだと考えるが、所見を伺う。

答 生活の基盤である住まいに対して、居住支援の体制を協議し進めていく。



阿部 久一
議員

ニュー石巻



石巻市立地適正化計画（案）について

問 新たな都市構造の変革を行えば、住民自治組織の編成や地域コミュニティの再編等、改めなければならないのではないか。

答 住民の皆様の意見を伺い、丁寧に対応する。

問 都市核拠点（市民生活に最適であり、住環境保全エリア（総合支所区域）は、発展性のない地域と受け止められ、地域格差が生じ、市の均衡ある発展にならないのではないか。

答 地域資源や特性を磨き上げ、市全体の成長、発展につなげたいと考えている。

問 住環境保全エリア（総合支所区域）に集落支援員を導入してはどうか。

答 他市の事例を参考にしながら研究する。

問 県道尾ノ崎名振線の未着手の要因は。

答 県より地形的な問題や財源等の課題があり、早期の事業化は難しいとの回答ではあるが、粘り強く要望を行い、事業化につなげていきたい。

問 県道立浜大須間の道路拡幅整備の推進状況はどのようになっているのか。

答 令和6年度に事業着手の計画である。

問 女川町尾浦から出島へ本年12月に橋が架かる予定だが、女川町と共に観光客の誘客計画を図るべきである。

答 圏域2市1町および石巻圏観光推進機構等の関係機関と連携を図り、観光資源の開発と観光プロモーションを推進し、観光客の誘客につなげる。



我妻久美子
議員

はやて
石巻風の会



問 さまざまな市の計画にパブリックコメントをしても
らうための工夫について。

答 市の政策は市民を含む意見交換会や、専門家を入れた審議会等で話し合われた内容を含み、パブリックコメントが少ないということは、市の計画がしっかりしたものであるという認識ができると考えている。

問 学力向上について。学び合いの授業が展開される中、
遅れている生徒、もっと進みたい生徒へのフォローについて。

答 令和6年度より自由進度を取り入れ、タブレットで一人一人の希望する単元を学べるようになる。小学生も中学の勉強をでき、中学生も小学校の単元に戻って学習することができる。学び合いの学習の中で、個別最適な学びが実現できるよう、教職員の授業の準備をしっかりと行っていく。

問 全国的には公立病院で自由診療も行っている場合があるが、皮膚科等において、患者のニーズを反映した自由診療を取り入れることは可能か。

答 原則保険診療であり、美容目的の自由診療は訴訟リスクも高い。医師の確保ができないため、不可能である。

問 須江地区の火力発電所建設計画について、現状を伺う。

答 住民の理解は得られていないものと認識している。残土搬出および燃料輸送経路に関する内容について、安全対策の不備、危険性を強く感じた。河南地区の大規模農道は、大型車両進入禁止の規制がかかっているため、通行できない。



阿部 浩章
議員

ニュー石巻



問 新たに配置したC・O補佐官は具体的に何をし、第一副市長（C・O）とどのような役割分担をするのか伺う。

答 主要な施策との整合性を図り、横のつながりを意識したデジタル社会に順応した組織に変えるため、補佐官は主要な計画とDX推進の取り組みとの整合性を図る庁内調整、苦手意識を持つ管理監督者への対応等の取り組みをする。また、C・Oの考えが組織に十分に浸透するよう、補佐官と綿密な情報および意見交換をとおして連携する。

問 職員提案制度は、「再度、制度再構築に向け検討する」旨、昨年答弁を頂いたが、現在の状況はいかがか。

答 現在、たたき台まで作成しており、実現に向けて進めていきたい。

問 交通安全指導員の構成枠は、震災後の人口移動に伴い修正したのか伺う。

答 合併時と変更はない。

問 市長は市民目線に立つてイクボス等、できるものから率先垂範しており、その姿勢に対し高く評価するものの、当局の答弁を聞くと「我が事」として、立ち向かう姿勢に対し、心もとない感じがある。改革全般に対する所見を伺う。

答 市長就任以来、現場主義に徹し、市民の声に耳を傾け、必要に応じ改善に取り組んできた。地域自治システムは住民自治の根幹と考えており、今後も未設立地区に向き設立に向け取り組んでいきたい。これにより、他地区間の互いの顔が見え、共助につながるものと考えている。

議会を傍聴してみませんか？

本会議と委員会は、市民の皆さんに広く公開しており、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。特に本会議は、市民の皆さんが選んだ議員全員によって構成され、皆さんの生活に直結した議案などを審議し、議会の最終的意思を決める会議であり、議員の発言や市長の考え方などを直接見聞きすることができますので、ぜひ傍聴にお越しください。

本会議の一般席は44席、車いす使用者席の特別席は4席、委員会の一般席は10席で、先着順となります。※団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

受付場所	本会議等開会日に市役所6階にある議会事務局までお越しください。 ※本会議の開会時間は基本的に、開会日は午後1時、2日目以降は午前10時です。
受付方法	受付で議会傍聴受付表に「住所」・「氏名」を記入していただき、議会傍聴証を受け取ってから、傍聴席に入場してください。

第1回定例会 起立採決のあった議案

3月19日の議案審議では、第10号議案石巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、齋藤澄子議員が反対の立場から下記のとおり討論を行いました。本議案は、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。

◆第10号議案 石巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成30年度に国民健康保険の運営が都道府県単位化したことに伴い、資産割を廃止したことによる減収分を所得割などに転嫁せず、国保財政調整基金の取り崩しで対応してきたが、被用者保険の適用拡大等による被保険者の減少や高齢化等による医療費の増加に伴い、基金が著しく減少していることから、緩和措置を終了し、保険税の見直しを行うため、本条例の一部を改正するもの。

反対討論の概要(齋藤澄子議員)

- ・国民健康保険の会計が苦しくなった要因は、国からの国庫支出金が大幅に減額されたためではないか。
- ・国民健康保険加入者は自営業や年金受給者、フリーターなど所得の低い方々で構成されているため、値上げとなればとても重い負担になる。
- ・1人当たり年平均1万4300円、16.9%値上げする内容だが、被保険者は物価高に悩まされている。
- ・4月の通知後、すぐに納付しなければならない状況になるため、加入者に十分に説明し、意見を聞きながら進めるべき。

各議員の賛否

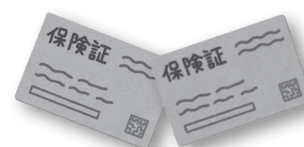
議席 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	賛 成	反 対
氏 名	原 田 豊	勝 又 和 宣	木 村 美 輝	我 妻 久 美 子	谷 祐 輔	都 甲 マ リ 子	早 川 俊 弘	千 葉 正 幸	阿 部 浩 章	高 橋 憲 悦	楯 石 光 弘	安 倍 太 郎	阿 部 和 芳	宇 都 宮 弘 和	山 口 莊 一 郎	星 雅 俊	齋 藤 澄 子	奥 山 浩 幸	遠 藤 宏 昭	大 森 秀 一	阿 部 久 一	丹 野 清	渡 辺 拓 朗	鈴 木 良 広	櫻 田 誠 子	阿 部 正 敏	西 條 正 昭	後 藤 兼 位	24	1
賛否	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	24	1

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議：議長（議長は採決に加わりません）



第1回定例会に提出された陳情

- 現行の健康保険証の存続を求める意見書提出のための陳情書
(提出者)宮城県保険医協会 理事長 井上 博之
※本陳情は、全議員へ参考回付しました。



石巻市議会議員と石巻を考える女性の会との懇談会



令和6年1月24日、「石巻を考える女性の会」の皆さんと「高齢者対策」、「防犯対策」をテーマに懇談会を開催しました。

懇談会は、平成23年に第1回を開催し、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により、中止せざるを得ない年もありましたが、今回で10回目の開催を迎え、女性の会からは、一人暮らしのみとり、孤独化、空き家問題、相続など、さまざまな地域課題について、地域の活動や女性の視点から活発な意見が交わされました。

議員研修会 「市議会におけるハラスメントの防止」



令和6年2月5日、千葉県内の市職員勤務を経て現在は弁護士として活躍されている日本経営協会の山岸丈朗氏を講師に招き、「市議会におけるハラスメントの防止」をテーマに議員研修会を開催しました。

議員のハラスメントに関する知識や理解の向上を図ることを目的として、事例を踏まえ、セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントなどのさまざまなハラスメントの実態や防止について理解を深めました。

第30回 議場コンサート開催のお知らせ

日時：6月10日（月）第2回定例会初日 午後0時20分～40分

場所：石巻市議会議場（市役所6階） 出演者：鼓心（石巻祥心会）

曲目：カムイ、海鳴り、あしたこそ など



第1回臨時会で可決した議案と審議結果(令和6年1月30日開催)

その他

(承認)

- ・専決処分の報告並びにその承認を求めることについて

(令和5年度石巻市一般会計補正予算(専決第4号))

(令和5年度石巻市一般会計補正予算(専決第5号))

(原案可決)

- ・訴えの提起について



令和2年9月に、元市議会議員に科した2日間の出席停止の懲罰に伴う、同市議会議員を原告とする損害賠償等請求事件について、去る1月23日、仙台地方裁判所において、本市に対して慰謝料100万円及び遅延損害金を支払うよう命じる判決の言い渡しがあり、本判決の内容は本市として受け入れられるものではないことから、さらに上級審の判断を仰ぐために控訴をしようとするもの。

起立採決のあった議案に対する各議員の賛否 第3号議案 訴えの提起について

議席 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
氏 名	原田 豊	勝又 和宣	木村 美輝	我妻久 美子	谷 祐輔	都甲マ リ子	早川 俊弘	千葉 正幸	阿部 浩章	高橋 憲悦	楯石 光弘	安倍 太郎	阿部 和芳	宇都宮 弘和	山口 莊一郎	星 雅俊	齋藤 澄子	奥山 浩幸	遠藤 宏昭	大森 秀一	阿部 久一	丹野 清	渡辺 拓朗	鈴木 良広	櫻田 誠子	阿部 正敏	西條 正昭	後藤 兼位	賛 成	反 対
賛否	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	25	0

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議：議長(議長は採決に加わりません。)

議会の動き 令和6年

《1月》

- 10日 日高見会行政視察(～12日)
- 16日 大崎市議会行政視察来石
- 18日 ニュー石巻行政視察(～19日)
- 22日 産業建設委員会意見交換会
総務企画委員会意見交換会
- 24日 石巻を考える女性の会との懇談会
- 30日 議会運営委員会
全員協議会
第1回臨時会本会議(議案審議)

《2月》

- 5日 石巻市議会議員研修会
- 6日 地域交通対策特別委員会
- 13日 議会運営委員会
- 15日 本会議(開会、施政方針演説)
全員協議会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 本会議(施政方針に対する質疑)
- 26日 本会議(施政方針に対する質疑)
- 27日 本会議(条例案等審議)
- 28日 本会議(当初予算案審議(令和6年度当初予算))
- 29日 本会議(追加議案審議(令和5年度補正予算等))

《3月》

- 4日 総務企画委員会
- 5日 環境教育委員会
- 6日 保健福祉委員会
- 7日 産業建設委員会
- 8日 議会運営委員会
陸上競技場の整備を推進する議員連盟役員会
- 11日 東日本大震災追悼式
- 12日 総合防災対策特別委員会
- 13日 議会運営委員会
本会議(一般質問)
- 14日 本会議(一般質問)
- 15日 本会議(一般質問)
- 18日 本会議(一般質問)
- 19日 本会議(一般質問、委員長報告、
追加議案審議、閉会)
- 22日 産業建設委員会現地視察
- 27日 日高見会視察研修(～28日)



本会議・常任委員会を動画で配信しています

視聴される際は、市議会ホームページの
『市議会YouTube配信(ライブ中継・過去録画映像)』
をご覧ください。



本紙面の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問や委員会審査の動画(録画映像)をご覧ください。

次回(令和6年6月)の議会定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 13:00 開会 提案理由説明等	11 10:00 常任委員 選任等	12 10:00 本会議 議案審議	13	14 10:00 総務企画委員会 13:30 環境教育委員会	15
16	17 10:00 保健福祉委員会 13:30 産業建設委員会	18	19	20 10:00 本会議 一般質問	21 10:00 本会議 一般質問	22
23	24 10:00 本会議 一般質問	25 10:00 本会議 一般質問	26 10:00 本会議 一般質問 閉会	27	28	29
30						

※開会時間・日程は変更となる場合があります。

議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット(YouTube)で、
生中継やこれまでの録画配信をご覧になれます。

YouTube 石巻市議会チャンネル



公式な記録である会議録は、市ホームページ
や図書館、議会図書室でご覧になれます。

会議録の検索・閲覧



■第1回定例会ライブ中継の視聴回数
■YouTube録画中継の視聴回数

2,074回 (令和6年2月15日～3月19日)
7,533回 (令和6年1月～3月末)



編集後記

2024年1月1日の能登半島の地震津波の影響で、被災されました地域の方々、そのご家族に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。

本市では、春の訪れを告げる魚「小女子」が魚市場開場(昭和25年)以来初めて今季休漁になりました。高水温影響で魚影が皆無とのこと。

しばし前から「地球温暖化」の影響は世界的に警鐘されていますが、うまくは行かない現状です。水産都市「石巻」でも、魚の水揚げ量をカバーする「陸上養殖」への切り替えが急がれます。

また、春といえば選抜高校野球大会の開幕があり、幾つになっても心躍る季節です。

「自ら進運を開拓すべし」若いとき、知ったこの言葉は、私の人生の羅針盤でもあります。

本市の課題解決のために、各議員が様々な角度から進むべき道がどうあるべきか、また、打開する方法があるのか議場で議論しております。

議会だよりは、真摯な議論のほんの一部です。どうぞ、議場での活発な論戦をお聞きくださるようお願い申し上げます。

広報広聴委員会 委員 星 雅俊

DATA 市総人口：133,724人【男：64,955人 / 女：68,769人 / 世帯数：62,399世帯(令和6年3月末日現在)】